

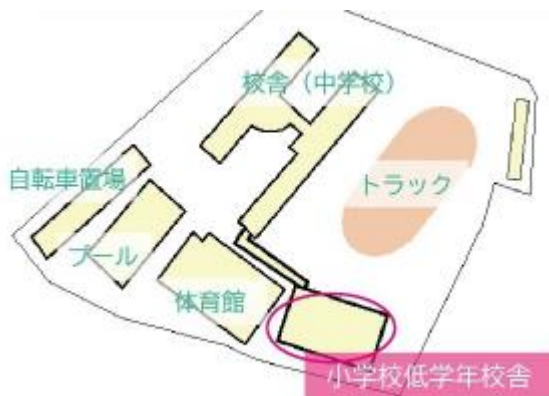
☆つばさ小学校低学年棟建設工事の進捗状況をお知らせします（6回目）

— 校舎が完成しました！！ —

今春4月に、つばさ小学校（つばさ南小とつばさ北小を統合した学校）と川島中学校による施設一体型・小中一貫教育校を開校するため、昨年6月から、中学校地内で、小学校低学年棟（小学校1～4年生を収容する校舎）の建設工事を進めてきましたが、遂に校舎が完成しました。

そこで「完成状況」について、お知らせします。

◇低学年棟配置図（工事箇所）



◇低学年棟完成イメージ図



◇工事全体の工程及びスケジュール

工事は、概ねつぎのような工程、スケジュールで進めてきました。

- | | |
|--------------------|------------|
| ①「杭工事」 | 6～ 7月（完了） |
| ②「基礎工事」 | 7～ 8月（完了） |
| ③「鉄骨建方工事【建物骨組】」 | 8～ 9月（完了） |
| ④「外装工事【屋根・外壁・サッシ】」 | 10～11月（完了） |
| ⑤「内装・家具工事」 | 12～ 1月（完了） |
| ⑥「完成」 | 1月31日（完了） |

～ご質問やご意見がありましたら、下記事務局までお寄せください。～
つばさ南・つばさ北小学校統合協議会事務局 川島町教育委員会 教育総務課 学校統合推進室
TEL：049-299-1730 FAX：049-297-8410

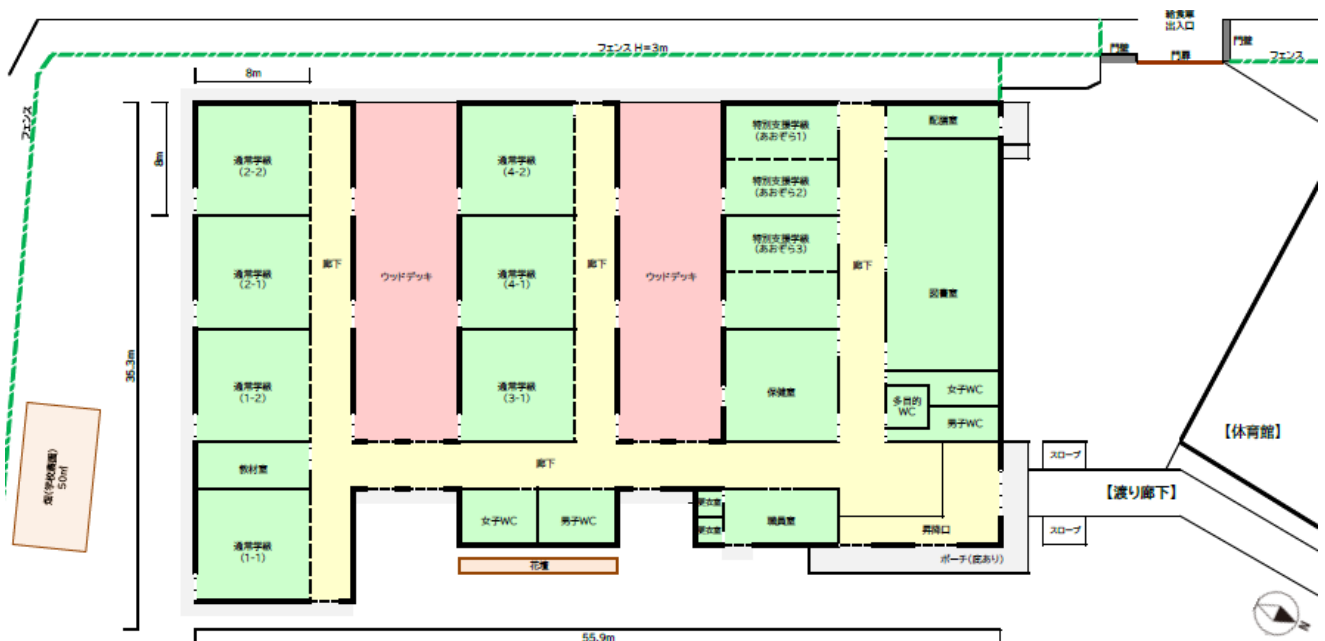
☆6 回目（最終回）「完成状況」について

完成した校舎の状況を、外観、内観（各部屋）ごとに、お知らせします。

1. 「校舎全景（ドローンで撮影）」



（平面図）



（概要説明）

校舎は、川島中学校敷地内（体育館南側の未活用スペース）に建設しました。
この校舎は、全体として3棟から構成され、各棟は廊下で連結されています。棟と棟の間にウッドデッキを設置したほか、中学校校舎との連絡用通路として、渡り廊下を設置しました。

構 造：鉄骨造 階数：平屋建 面積：1,388.47 m²
部屋数：16 部屋（教室 11、図書室 1、職員室 1、保健室 1、配膳室 1、教材室 1）

請負業者 株式会社島村工業
監理業者 株式会社第一建築設計事務所
請負金額 586,300,000 円（税込）

工 期 ※校舎建設のほか、渡り廊下及び外構工事（門扉・フェンス・舗装など）も含む
令和6年5月2日～令和7年1月31日

2. 「 校舎遠景（グラウンド側から撮影） 」



校舎は、もともと未活用だったスペースに建設したので、グラウンドが狭くなったわけではありません。しかし、トラックの一番外側のレーンと校舎間の距離を広げて、さらに安全領域を広げるため、トラック全体を東側に 4m 移動しました。

3. 「 渡り廊下 」



“渡り廊下” は、グラウンドの使用に支障が出ないように、体育館のすぐ隣脇に設けました。また体育館からの延焼を回避するため、完全に壁で囲うことはできないものの、でき得る限り風雨を防げるよう腰壁を設けました。さらに床が浸水しないように、床面はグラウンドよりも 20 cm ほど高くしました。

幅は 2m、傾斜は緩やかで、かつ手すりもあるので、身体の不自由な方にも利用しやすいです。

4. 「 校舎及び渡り廊下 」



校舎裏側からグラウンドに車両が入れるよう、渡り廊下の一部は、軒高を高くしてあります。（軒高：3.5m）

5. 「 玄関 」



正面玄関には、雨除けとしてポーチを設けたほか、身体の不自由な方にも出入りしやすいようスロープ、手すりを設けました。また、グラウンドからサッカーボールなどが転がり込んでも、児童に危険が及ばないようにネットカーテンも設けました。

6. 「 昇降口・下駄箱 」



昇降口には、”下駄箱”を7面設けました。1面に32足の靴（縦：4足分・横：8足分）を収納でき、全部で224足の靴を収納できます。

7. 「 昇降口・案内板 」



昇降口を上った正面の壁に、教室の場所が一目で分かるよう、”案内板”を設けました。

8. 「 廊下 」

※天窓	廊下の床は、表面にサクラ材を利用した複合フローリング、壁は、不燃加工された杉羽目板にして、機能性を重視しつつも木質の雰囲気を出しました。 廊下は、教室の北側にあるため、全体的に暗くなりがちです。そこで、自然光を採り入れて明るくなるよう屋根の一部に天窓を設けました。 なお、廊下の幅は、場所によって違いはありますが、3mから3.3mにし、利用しやすいようにしました。
--	---

9. 「 ウッドデッキ 」

(西側から撮影) 南← →北 (東側から撮影) 北← →南	教室の南側窓から自然光を採れるよう、棟と棟の間に空間（中庭）を設けました。そして、この中庭を有効活用できるよう“ウッドデッキ”を設けました。 教室から上履きのまま出ることができ、休み時間には子どもたちの憩いの場になるほか、鉢植えを置いて植物観察などできます。
---	---

10. 「 教室（通常学級） 」



※教室サイン（表示板）

“教室（通常学級）”の広さは64㎡（8m×8m）です。この室内に最大35名まで児童が入ります。

（通常学級の定員は35名・小学校の場合）

使用する机の寸法は65cm×45cmですが、35人児童が入っても、児童と児童の身体的距離は1m確保できます。

教室と廊下の仕切りは引分け戸です。よって、戸を開くと、教室と廊下を一体としてオープンスペースにできるので、多様な学習活動にも対応できます。

さらに、1人1台タブレットの授業に対応できるよう校内LANも整備しています。

なお“教室（通常学級）”に限らず、すべての部屋は冷暖房を完備しています。

11. 「 教室（特別支援学級） 」



“教室（特別支援学級）”の広さは、通常学級と同じ64㎡（8m×8m）ですが、学級が増える場合は、スライディングウォールを閉めることで2部屋にします。

（特別支援学級の定員は8名）

12. 「 図書室 」



※蔵書エリア



※閲覧エリア

“図書室”の広さは、120.9㎡です。この部屋は、蔵書エリアと閲覧エリアに分かれます。蔵書エリアには書架が置かれ、閲覧エリアにはテーブル・椅子を置きます。

書架には、最大で約 7,000 冊の蔵書を収納できます。またテーブル・椅子は、図書の閲覧だけでなく、会議やグループ学習など多目的に活用できる物を入れました。

13. 「 職員室 」



つばさ小学校の職員は、中学校校舎 2 階の職員室に入り、川島中学校の職員と一緒に仕事します。しかし、低学年棟から職員がまったく居なくなってしまうと、児童の様子を見れないので、低学年棟の中にも、職員室を設けました。

この”職員室”には、校内放送設備、自動火災報知設備、電話機、校内LANなどを設けたので、例えば、外線電話を取って中学校校舎へ内線を取り次ぐなどし、相互に連絡できるほか、火災場所を把握して、避難誘導することができます。

14. 「 保健室 」



※担架・AED 収納箱

つばさ小学校の児童数は、現在のつばさ南小・つばさ北小のおよそ2倍の人数（想定：230人）になるので、広い保健室（64㎡）を用意しました。この部屋にベッドを3台入れます。

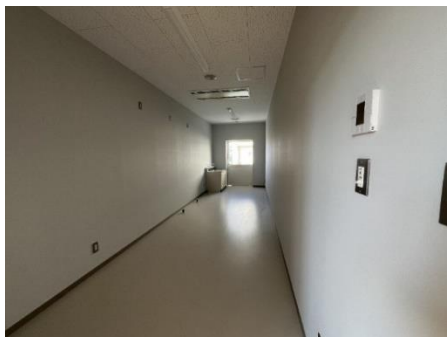
また、この部屋には、シャワー室、足洗い場、湯沸かし器、洗濯機のほか、直接、救急要請できるよう電話機も設けます。

なお、保健室の廊下には、担架と AED を収納する箱を設けました。

15. 「 配膳室 」



※配膳室外部



※配膳室内部

給食の食缶など受け入れる”配膳室”は、中学校校舎1階の北側にありますが、この場所から低学年棟まで、食缶などを運ぶことはできないので、低学年棟内に、”配膳室”を設けました。ここで1年生から4年生分の食缶などを受け入れます。

16. 「 教材室 」

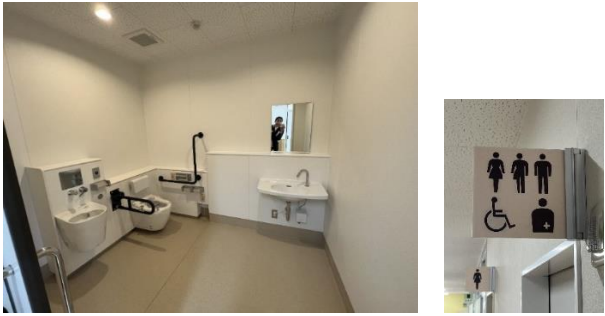


教材等を収納する保管スペースとして、”教材室”を設けました。

17. 「 トイレ（男子・女子） 」

 ※男子トイレ ※女子トイレ	“トイレ”は、男・女それぞれ2箇所ずつ設けました。便器は、小学生が使いやすい高さで、人が居なくても定期的に水洗するタイプです。また、床は水を流さない乾式なので衛生的です。さらに、電灯は人感センサーにより、自動で点灯します。 なお、サイン（表示板）はジェンダーレスの時代を考慮し、なるべく性差を意識させない考えで、色で区別しないこととしました。（男女ともベージュ色で統一）
---	---

18. 「 トイレ（多目的） 」

	身体の不自由な方も安心して使用できる”トイレ(多目的)”です。車いすに乗ったままでも入りやすく、また、オストメイト（※）の方の利用にも配慮しています。 ※オストメイトとは 腹部などに、ストーマ（人工肛門・人口膀胱）を増設している人
--	---

19. 「 外構・花壇 」

	花壇も設けました。
---	------------------

20. 「 外構・学校農園（畑） 」



学校では、総合的な学習の時間などの授業で、農業を学んでいます。（畑ではおもにサツマイモなど栽培）

そこで、校舎の南側の空きスペースに”学校農園（畑）”を設けました。面積は50㎡

なお、学校農園（田）は、校外の徒歩で通える場所に用意しました。

21. 「 外構・フェンス 」



敷地周りのフェンスは、校舎建設に併せて、新しくしました。敷地の外側に水路があるので、児童の安全確保を考慮し、高さは3mにしました。

22. 「 外構・校門 」



この校舎には、1年生から4年生の給食を運び入れる必要があるため、車両が入れるよう、水路に橋（ボックスカルバート）を架けたうえで校門を設けました。